

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 鈴木
日 時	平成28年3月23日(水曜日)		開 議 午前 11 時 00 分 閉 議 午前 11 時 25 分
出席委員	齊藤 三上 小川 奥野 菱田 馬場 藤本 木曾 湊 石野 <西口議長> (欠席:福井)		
執行機関出席者			
事務局出席者	藤村事務局長、山内次長、鈴木議事調査係長、三宅主任		
傍聴	市民0名	報道関係者0名	議員0名( )

## 会 議 の 概 要

11:00

### 1 開議

〔齊藤委員長 開議〕

### 2 第1号議案審査

#### 【市長質疑項目検討】

<齊藤委員長>

補助金の資料について各委員において確認願う。

<湊委員>

「内容精査のうえ他の予算と組替え」とはどういうことか。

<事務局長>

予算が厳しい中において補助金を一律で2割カットするという方針が出ていたが、所管部の判断で補助金をカットしない代わりに他の予算を減額するということである。

<馬場委員>

亀岡祭山鉾保存会活動補助金について、「査定の一律2割カット分を、主管課で内容精査のうえ他の予算と組替え」とあるがどういう意味か。

<事務局長>

例えば補助金以外の予算をカットする等、全体で調整するということである。

<小川委員>

私立幼稚園就園奨励費補助金の減額は大きく、保護者負担が増えることになるので市長質疑項目としたい。

<事務局長>

亀岡市は従来から国基準よりも手厚くしていたが、制度の見直しに伴い補助率も見直したという説明であった。

<湊委員>

補助金を一律2割カットとした場合、執行できないことも見込まれる。その場合に補正予算計上も含め柔軟に対応することをどのように考えているのかという内容で市長質疑項目としたい。

<馬場委員>

- 一律減額とした根拠を聞きたい。
- < 湊委員 >  
教育予算について一律減額するのはいかななものかという内容を加えてはどうか。
- < 齊藤委員長 >  
市長質疑項目数についてはこのまま11項目とするのかどうかご意見を。
- < 三上副委員長 >  
昨年は20項目を7項目に絞った経過があるが、7項目で市長質疑及び答弁でどれだけ時間がかかったのか聞きたい。
- < 事務局長 >  
昨年は10時から市長質疑を開始して概ね正午までかかった。
- < 菱田委員 >  
項目数を絞り込んでどうか。
- < 馬場委員 >  
質疑の段階で時間を自制してはどうか。項目としては難しいものはないように思うがどうか。
- < 木曾委員 >  
昨日までに質疑を11項目としたので、そのまま市長質疑としてはどうか。時間はそれほどかからないと考える。
- < 馬場委員 >  
議事運営であり委員長に任せてはどうか。
- < 齊藤委員長 >  
基本的には1項目について委員からの質疑は3回以内とする。
- < 湊委員 >  
補助金については市長質疑に含めるのか。
- < 齊藤委員長 >  
補助金については市長質疑項目に追加し、全部で12項目とする。
- < 事務局長 >  
補助金の質疑項目については、「予算編成における補助金を一律2割カットした根拠は。教育関係の補助金は一括カットに適さないと考えるがどうか。また、執行上不都合が生じた場合に、補正予算計上も含めた柔軟な対応等はどうか考えるか」という内容でよいか確認いただきたい。
- < 齊藤委員長 >  
その内容のとおりとする。

11 : 25